

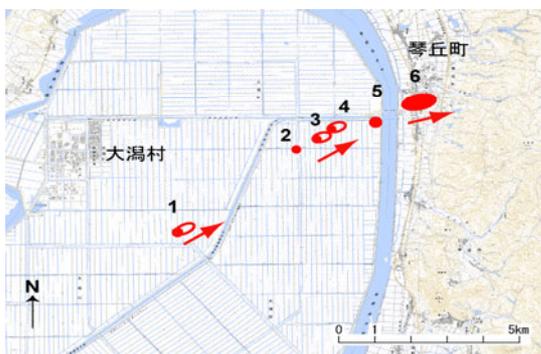
秋田県大潟村，琴丘町における突風被害調査速報

松井正宏，曹曙陽，田村幸雄 東京工芸大学

2005年11月8日正午頃，秋田県大潟村から琴丘町にかけて突風が吹き，プレハブ小屋ごと飛ばされた男性の負傷，農業用小屋の倒壊，住宅の屋根飛散，国道防雪柵の破損等の被害が発生した。

当時，日本海側北部では寒冷前線の通過で積乱雲が発達しており，秋田県の日本海側で比較的広い範囲で強風が観測されていた。突風発生地点から南に約40km離れた秋田地方気象台(風速計高さ39.9m)では，12:16に最大瞬間風速35.2m/sを，最大風速(10分間の平均の最大値)は19.8m/sが記録されている。また大潟村にはアメダス観測点があるが，風速は11:50の5m/sから12:00の9m/sに増加したものの，竜巻通過と考えられる12:30までは8m/sが続いており，特に顕著な値が記録されてはいない。

図に被害が発生した地点を示す。地点1から6は大潟村である。この地域は水田が広がっており，風の被害を受ける構造物等が非常に少ない。そのため，上記に示す地点間にも強い風が作用していた可能性がある。また，地点6は琴丘町である。町中央には2階建程の住宅や店舗が比較的密に建設されており，町を横断する様に被害が分布していた。



被害発生地点



地点1 手前農業倉庫倒壊跡，後方へ飛散物が広がっている



地点3と4の間に飛散した建物の骨組が突き刺さっている。人力では抜けなかった。



地点6 琴丘町内の被害。壁面，屋根に損傷を受けている。